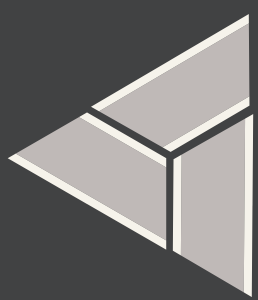


Collection of works by mi-mok

美山木匠塾 制作物コレクション 2012 ▶ 2024

🏆 授賞作品

2012



公園のベンチ

ちびっこ広場を子どもたちが遊べる公園にすることを目的として、ベンチを作りました。

2013



積み木デッキ

2013年度に、石が多いちびっこ広場をより安全な空間にすることや、子どもたちが木とふれあい、木に学び、木と生きる「木育広場」にすることを目標にして、変形自由自在のデッキを考案しました。2014年度は、さらにデッキの数を増やしました。

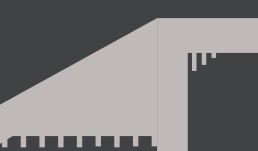
2014



ヤタイ「棧」🏆

2013年度に製作された「はしごしよう!」を基に、ベンチ・テーブル・ヤタイの3つのスタイルに変身できる機能を追加したヤタイです。大人が集まって、子どもを見守ったり、交流できることを目的としています。さらに、山間部と都市部の人々をつなぐ「かけはし」となることも目指しています。

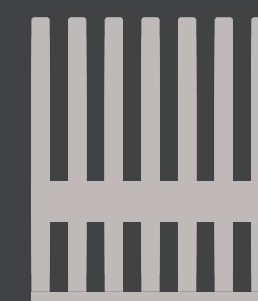
2015



すべりたい

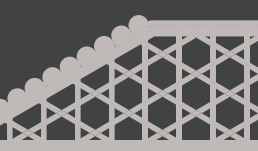
「すべりたい」は、ちびっこ広場を活動的な「木育広場」にすることを目的に制作した、「積み木デッキ」と組み合わせて活用できるすべり台です。

2016



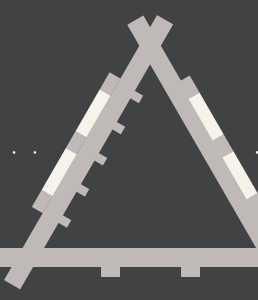
KASANOKI 🏆

生活のための作品として傘立てをデザインしました。「阿波指物」の技術によって金物を使わずシンプルな造形を実現し、商品化されました。



のぼりたい

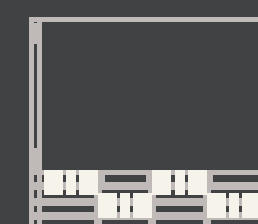
「すべりたい」の対応として、「のぼりたい」を作りました。掴む部分は磨き丸太(北山杉)を利用しており、直に磨き丸太の地肌に触れることができます。



くむくむ 🏆

シンプルなパーツの組み合わせ方によってベンチやテーブル、ジャングルジムといった、多様な空間にすることができる作品としました。

2017



あつまるま 🏆

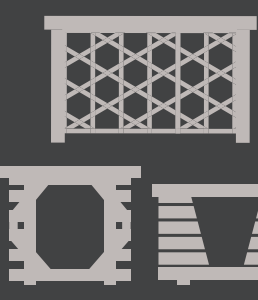
「仁清里づくり委員会」の方々から、「イベント時に茶室のように使えるヤタイがあると良い」との提案をいただき、制作しました。人と人の間に繋がりが生まれる移動式茶室です。



add-vench

トンネル付きのベンチです。連続して置くことで、迷路を作ることが出来ます。天板の裏には黒板塗料が塗っており、絵を描くことができます。親はベンチに座りながら子どもが遊ぶ様子を見守ることが出来ます。

2018



add-vench2

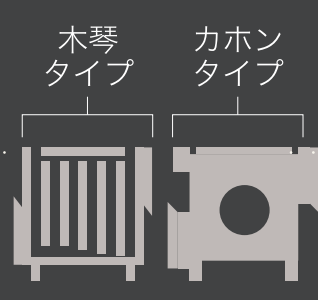
「add-vench」と組み合わせることで、立体的な迷路を作ることが出来ます。

十二年の軌跡

The "Mokusho-juku" in Miyama of Kyoto prefecture Twelve-Year Journey



2019



つながっき

「あつまるま」のイスに楽器を組み込みました。カホンタイプと木琴タイプがあります。人が集まったときに自然と音楽が生まれる環境づくりをめざしています。

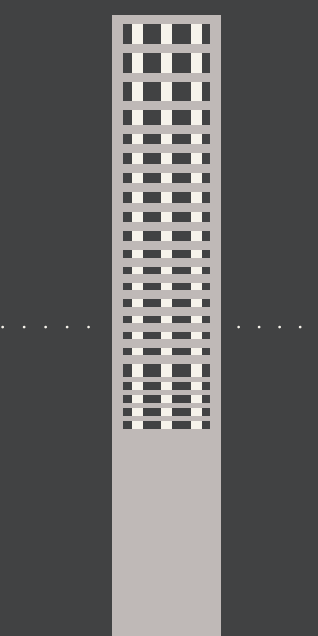
2020



小さな木の家

美山木匠塾の活動を大野の全住戸にお届けすべく、「小さな木の家」をつくりました。ビデオ通話時の携帯置きやリモコン置きとして使用できます。コロナ禍の生活に寄り添う作品を目指しました。

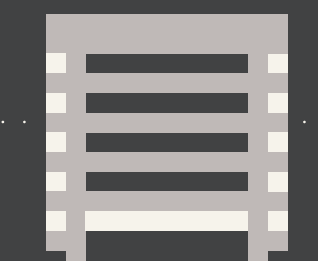
2021



グラデーションの帯

憩いの場として整備された「サロンげんじ」の玄関に靴を脱ぎ履きするための傘立て付きのベンチを作りました。

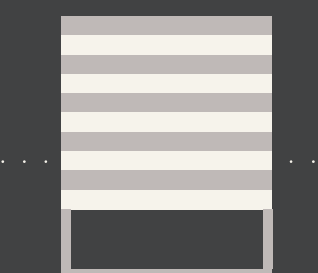
2022



イコイス

物入れや看板にもなるイスを作りました。

2023



折看板

「だいしぜんのみち」の散歩ルートの魅力を伝える案内看板を作りました。

2024



帯

「だいしぜんのみち」の散歩ルートの距離が長いので、折看板的に休憩ができるベンチを作りました。

バス停標識

大野の玄関口となるバス停留所の魅力向上を目指してバス停標識を作りました。

折看板(増設)

2023年度に制作した折看板上に、「だいしぜんのみち」の観光スポットを示す看板を増設しました。

おおのさんぽ案内看板

地域おこし協力隊によって制作された「おおのさんぽ案内看板」が損傷していたため、新たなデザインで更新しました。